

森づくりから風土づくりへ ～大淀川流域住民プロジェクト～

特定非営利活動法人 どんぐり1000年の森をつくる会

宮崎・鹿児島県の県境にある中岳を源流とする大淀川は、都城盆地を北上し、山あいの狭さく部を下りながら宮崎市を通貫し、日向灘へ注ぎます。

大淀川の流域では約60万人が生活し、川の水は飲料水や農業用水・発電などにも広く利用されており、まさに大淀川は「みやぎきの母なる川」と言えます。

「NPO法人どんぐり1000年の森をつくる会」は、「風土は人をつくる」理念の下、「子供たちにどんぐりの芽を見せたい。子供は命の輝きに感動する」を合い言葉に、自分たちの手で、山を再生して雨水を浄化し、それを大淀川や日向灘に還流することで生態系に大きな恵みを与える大切さを伝えることを目的として平成8年に設立されました。

これまで16の国有林56haに13万5千本

のどんぐり（広葉樹の総称）を植樹し、今では、10年前に植栽した山に沢ができ、清らかな水が流れ出し、自然植生に近い山となっています。

また、子供たちが身近に森に親しめる場所として「どんぐり村～こども自然塾」を整備し、子供たちが想像力を働かせ、全身で遊べる場所として開放し、夏休みを中心に環境学習、イベントを開催しています。電気や水道がない不便な場所がありますが、開村以来、多くの親子や団体に賑わっています。

活動の結果、県内では知名度が高まりつつあり、最近では、森づくりの重要性を下流域に住む方々にも理解が得られ「どんぐり株主」が増えてきています。1000年というスケールを見据えて、豊かな地域環境を自分達の手で築きあげていくという試みが波紋を呼び、着実に活動の裾野が広がってきています。



毎年1回行われる植樹会



ハジブラコで遊ぶ子供達



どんぐりの種から育った苗場



こども自然塾で行われたアナウンサーによる読み聞かせ会



竹で工作中的のガールスカウト



植樹から10年後に沢が流れ始めた

- ◆所在地
宮崎県都城市上水流地内
- ◆活動内容
植樹会（年1回）、どんぐり苗場の管理、こども自然館でのイベント（通年）
- ◆活動主体及び連絡先
特定非営利活動法人 どんぐり1000年の森をつくる会(0986-57-5228)
<http://www.donguri1000nen.jp/index.html>
- ◆対象となる社会資本
一級河川 大淀川

